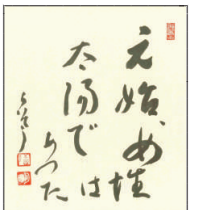


①平塚らいてう・女性運動資料室

(新婦人中央本部事務所ビル1階)

日本の女性運動の先駆者、平塚らいてう(1886-1971)の紹介とあわせて、「わたくしは永遠に失望しない」との志を受け継ぐ女性たちの運動をパネル展示。1962年創刊以来の新婦人しんぶん、女性関連の書籍、各地の運動資料もそろ。



らいてう直筆の色紙

◆文京区小石川5-10-20(地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅徒歩7分) 第2・4火曜14時~16時、1週間前まで事前申し込み、FAX03-3814-9441かメールnjwa@shinfujin.gr.jpまで

♪歩いて行けるスポット♪

⑨石川啄木終焉の地 歌碑と顕彰室がある。啄木(1886-1912)は『一握の砂』などで知られ、「時代閉塞の現状」で国家の強権に迫る評論も。

⑩佐藤忠良の彫刻 播磨坂中央の少女像「風韻」(右下、1994年)。忠良(1912-2011)

は日本を代表する彫刻家。新婦人しんぶんの小説挿絵やインタビューなどで協力した。

⑪小石川植物園 日本最古の植物園、東京大学研究施設。一般公開され、4000種の植物が四季折々楽しめる。山本周五郎の小説「赤ひげ」の養生所は園内にあった。



「青鞥社」発祥の地
青鞥社(1920)は、平塚らいてう(1886-1971)の発起、新婦人中央本部(1962)が開設された。『青鞥』や新婦人協会発祥の地をはじめ、明治以降の女子教育や文人の活躍の地など、見どころスポットが随所にあります。資料室見学とあわせて、ちよつと足を延ばしてみませんか。

②「青鞥」発祥の地 『青鞥』発起人の1人、物集(もづめ)和子(1888-1979、小説家)宅の一室が編集室に。和子の姉、芳子はらいてうの同級生。パネル(左)。

③高村智恵子旧居跡 長沼(高村)智恵子(画家、1886-1938)は『青鞥』創刊号の表紙絵(右)を描いた。らいてうの大学の後輩でテニス仲間。



④宮本百合子実家 百合子(1899-1951)はヒューマンイズムから女性と人間の解放を探求した著名な作家。新婦人協会機関誌『女性同盟』に百合子が寄稿、百合子選集にらいてうが一文を寄せた。実家、中條邸の門が現存。

⑤森鷗外記念館 鷗外旧居。鷗外の妹、小金井喜美子(1871-1956)は日本の女性翻訳家の草分け。鷗外の妻の森しげ(1880-1936)とともに『青鞥』発足時の賛助員となり、小説を発表。

⑥樋口一葉終焉の地 一葉(1872-1896)は家計を支え、『たけくらべ』などの小説を発表。墓碑の裏「縁起」はらいてう筆。

『青鞥』・平塚らいてう ゆかりの地 文京みどころマップ



東京・文京区の新婦人中央本部に「平塚らいてう・女性運動資料室」が開設されて2年。界限には、『青鞥』や新婦人協会発祥の地をはじめ、明治以降の女子教育や文人の活躍の地など、見どころスポットが随所にあります。資料室見学とあわせて、ちよつと足を延ばしてみませんか。

(青字はパネルや碑などあり。緑字は跡地)

⑦伊勢屋質店 一葉が貧しさのため、たびたび通っていた質屋。1982年に廃業したが建物が保存され、2003年に国の登録有形文化財となった。

⑧日本女子大学 1901年、女子を「人」「婦人」「国民」として教育する建学理念で創立。らいてうら『青鞥』発起人5人全員をはじめ関係者に同学出身者が多い。

⑫らいてう・博史の旧居 1920年結成した新婦人協会の事務所をここに置き、市川房枝(1893-1981)とともに対議会運動を起こす。

⑬お茶の水高女 日本初の官立女子高等教育機関、東京女子師範学校(1875年、現お茶の水女子大)の附属校。らいてうは良妻賢母教育に反発し「海賊組」を結成。JR御茶ノ水駅北付近。

⑭女子美術学校 尾竹(富本)一枝(1893-1966、画家)が通った。18歳で『青鞥』に加わり、紅吉の名で文や表紙絵を描いた自

由な芸術家。新婦人結成よびかけ人。

⑮野上彌生子旧居 彌生子(1885-1985、小説家)は『青鞥』に寄稿。戦後も多くの作品とともに、社会的な発言も。新婦人結成よびかけ人。

⑯東京府立第二高女 山川菊栄(1890-1980)が通った、現竹早高校。閨秀文学会でらいてうらと知り合い、『青鞥』で廃娼論争、のち母性保護論争。戦後、初代婦人少年局長。

⑰共同印刷争議 小説「太陽のない街」(徳永直著)の労働争議(1926年)の舞台。以前、新婦人しんぶんカラー面を印刷。今は近代的ビルに。

⑱旧陸軍施設 後楽園一帯に東洋一の東京砲兵工廠があった。1919年、陸軍大臣に、男女の賃上げと8時間労働を要求し職工7000人がストライキを実施。

編集部から
少の人口、食料生産を担う農業や漁業の減少、高齢化が大きな問題となっている(1画)。食糧
食料生産を担う農業や漁業の減少、高齢化が大きな問題となっている(1画)。食糧
食料生産を担う農業や漁業の減少、高齢化が大きな問題となっている(1画)。食糧

未来の髪は、今日から変わる。
レイラ美土里II (医薬部外品)の前に毎日続けて使用することをおすすめします
レイラ スカルプケアエッセンス 150mL 1,800円
フケ、かゆみを抑え、頭皮の血行を促進
レイラ化粧品 LINE公式アカウント
レイラ化粧品 インスタグラム公式アカウント
別売 専用ジェットポンプ 320円